



学校だより

平成23年 7月19日
足立区立足立入谷小学校
平成23年度 7月号—②

夏休みを前に

校長 田中 雅宏

平成23年度の前期・前半が7月20日で終了します。7月21日から8月24日まで子どもたちが楽しみにしている「夏休み」がいよいよ始まります。土日を入れると35日間という長い夏休みになりますが、一人一人の子どもたちにとって健康・安全を第一に、有意義な夏休みになるように願っています。



私たち大人も経験していることですが、楽しい日々はあっという間に過ぎてしまいます。ただ何となく過ごすのではもったいないことになってしまいます。ですから、目標を立て、計画を立てて、普段はできないことにじっくり取り組む機会にしてほしいと思います。

夏休み中、学校では10日間のサマースクールを実施しますので、ぜひ参加させてください。また、自分で目標を立てて、水泳をがんばる、読書をたくさんする、自由研究に挑戦する、手作りの作品を仕上げる、普段はなかなか行けない科学館や博物館・美術館などへ行ってみるなど、楽しみながら計画を立てさせてみてはいかがでしょうか。

夏休みは子どもたちの視野を広げるのに絶好の期間でもあります。豊かな自然の中に連れ出し、ゆったりと過ごしてみたり、家事を一緒に楽しませたり、家族旅行を計画したり、また、もし、可能ならばご家族やお知り合いの方の仕事場に子どもたちを連れて行き、普段大人の人たちがどんな仕事をしているのか見せてやれたら素敵ですね。いろいろ工夫をしてみてもいいのではないでしょうか。

子どもたちは、私たち大人が気付かないたくさんの可能性を秘めています。それを見つけ出す絶好の機会と考え、夏休みを充実したものにしてほしいと思います。

8月25日の前期の後半スタート時に、子どもたち一人一人がたくましく成長し、元気に学校に戻ってくる日を楽しみにしています。



子どもの「自己肯定感」を高めましょう

難しいことはありません。お子さんをよく見て、声をかける。このことが大切なのです。以下の3点を実践していただき、子どもが自信や誇りを持ち、自己肯定感をもって、自分の力で物事を進めていくことができる子になる夏休みになることを願っています。

一つ目は、「自分が家族から愛され、大事にされている」ということを感じることです。自分が大切にされていると感じられる子は、命の大切さを感じ、人への思いやりの心も育ちます。いつも子どもに関心を寄せてください。ありのままのお子さんを受け入れてください。

二つ目は、ぼくは、私は、「がんばれるんだ」「がんばればできるんだ」という体験をいっぱいさせましょう。失敗も大事、がまんすることも大事。それらを乗り越えて何かを達成した時、子どもの心に自信が生まれます。自信が、さらなる意欲を高めます。



三つ目は、「人や社会のために役に立っている・役に立つことができるんだ」という実感をもたせることです。学校では、掃除や係活動などで責任をもってやり遂げることも大切にしています。家庭では、家族の一員であるという自覚をもたせてください。どんな小さな手伝いでもいいです。毎日「これがあなたの仕事」というものを与えてください。食器を並べる、食べた後は、食器を片づける。これだけでもいいです。家族の役に立っているのですから。そして、声をかけてやってください。「ありがとう」「えらかったね」「とってもうれしいよ」など。その声が、家族の一員である自覚と人のために役立っているという誇りにつながっていくのです。

< 足立入谷小学校の教育目標 >

- やさしい子 「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に言える子。
- がんばる子 自ら学び、最後まで根気強く学習に取り組む子。
- げんきな子 健康・体力の維持・増進に努める心身ともに健康な子。



8月の主な行事予定



日	曜	行 事	16	火	足立区立学校休業日
1	月		17	水	足立区立学校休業日
2	火		18	木	プール清掃6年
3	水		19	金	(プール清掃予備日)
4	木		20	土	地少協作品コンクール表彰式13:00~15:00古千谷小
5	金	舎人自治会盆踊り 3,4年出演	21	日	地少協作品コンクール表彰式14:00~, 舎人町会角刀大会
6	土	舎人自治会盆踊り、翔裕園納涼祭・和太鼓ワグ出演	22	月	サマースクール⑧、水泳教室⑧
7	日		23	火	サマースクール⑨、水泳教室⑨
8	月		24	水	サマースクール⑩、水泳教室⑩
9	火		25	木	全校朝会、給食始 SC
10	水		26	金	生活リズムチェック始、仲良し班活動⑤
11	木		27	土	
12	金		28	日	
13	土		29	月	全校朝会、水泳記録会
14	日		30	火	
15	月	足立区立学校休業日	31	水	B時程、研究授業

SC=スクールセンター来校日…25日(木曜日)

生き生きとして実りある夏休みに

生活指導主任 菅家久美子

夏休みでなければできない体験をします

学校生活中心のときにはできない体験や経験をいっぱいさせたいですね。自分に合った課題を見つけ、自分で計画を立て、自分でチャレンジするよう支援し励ましてください。東京には、博物館や資料館、図書館などがたくさんあります。それらをぜひ利用してください。きっと子ども達の感性や知的好奇心をゆさぶってくれることと思います。

また、これまでの学習で不十分だったところがあったら、諦めないで復習することも大切ですね。

家族の一員として仕事をします

学校では一年生でも“自分のことは自分です”のが当然で、係や当番活動など、人の役に立つことを進んでやることをめざしています。家庭でも「頼まれてするお手伝い」だけでなく、責任をもって継続的にやる仕事を受け持たせてください。それをしないと家族みんなが困るような仕事、家族みんなが感謝するような仕事を分担しやり通すことで、自分の存在感を自覚します。そして自分に自信をもって生きていくことができます。

安全に気をつけ、きまりよい生活をします

例年、子どもたちに関わる物騒な事件や交通事故、水の事故も起きています。危険な場所には決して近づかないように、外で行動するときのルールを話し合い、確認しておいてください。

休み中はともするとだらだらした生活になりがちですが、自主自律の生活を築くチャンスでもあります。生活時程をつくってきまりよい生活をさせてください。

長い夏休みは子ども達にとって、自分の興味・関心や課題に生き生きとチャレンジし、それをやり遂げることができる時です。ゆったりと家族でふれあい、家族みんなで知恵を出し合って“わが家流”のすてきな夏休みをつくってください。

